



グランライトⅡ GlanzLightⅡ

LED 室内灯キット 白色 / ナチュラルホワイト色 / 電球色 共通

最大消費電流 (1両あたり) : 20mA

■ セット内容 (1両分)

室内灯ユニット	1
電極板	1
集電シュー	2
プラ板 (130×11mm)	1



■ 使用上の注意

- *この説明書は、鉄道模型の N (9mm) ゲージの車両用に作成しています。16番 (HO、16.5mm) ゲージ等の車両でも応用して使用できますが、取り付け方法などは異なります。
- *使用時の電圧は、必ず 12V 以下にしてください。
- *室内灯の明かりが一定に保たれない (ちらつくなどの) 場合は、車両やレールのメンテナンスを行ってください。

■ 準備 (ユニット側)

1. 取り付ける車両の長さに、室内灯ユニット 12.6cm (LED7 個) が適合するか確認します。車両より長い場合、図②の右側から順に、カット可能位置にて適切な長さに調整できます。



2. 電極板を、室内灯ユニットの黒い部品側にある端子にハンダ付けします。位置は、取り付ける車両 (メーカーなど) により異なります。集電シューの位置に合わせてカットして、ハンダ付けします [図③-④]。ハンダ付け終了後に、電極板の真ん中の部分を、+ を験している箇所を、(ニッパーなどで) カットします [図⑤]。



*電極板のカットを行わずに、そのまま使用すると、短絡 (ショート) して、電源装置や車両の破損、配線からの発熱・発火の恐れがありますので、必ずカットしてください。

■ 取り付け方法

車両に合わせて、室内灯ユニットを取り付けます。 ※メーカー別取り付け参考例です。

A. KATO の車両に取り付ける場合

1. 集電シューを、ラジオペンチなどを使って図⑧のように折り曲げます。
2. 集電シューを車両の該当部分へ押し込みます [図⑨]。
3. 室内灯ユニットに付属のプラ板を貼ります。この際に、プラ板は屋根の幅/長さに合わせてカットするようにしてください。

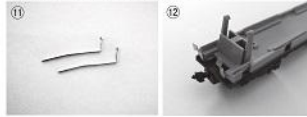


4. 室内灯ユニットとプラ板を貼り合わせたものを、室内灯ユニットに取り付けた電極板と、車両床下側の集電シューが一致する位置の屋根裏に貼ります。なお、屋根裏の形状によっては、プラ板を使用せず、直接室内灯ユニットを貼り付けることもできます [図⑧-⑨]。
 5. 電極板と集電シューが接触するように、車体と床下を合わせます。うまく接触しない場合は、電極板と集電シューの位置を調整してから合わせます [図⑩]。
- ※動力車に取り付けの場合、電極板の先を 3~4mm カットし、動力ユニットに当たらないようにしてください。

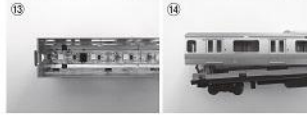


B. TOMIX/MICRO ACE の車両に取り付ける場合

1. 集電シューを、ラジオペンチなどを使って図⑪のように折り曲げます。
2. 集電シューを車両へ押し込みます [図⑫]。
3. 室内灯ユニットに付属のプラ板を貼ります。プラ板は室内灯ユニットの幅 8mm、屋根の長さに合わせてカットするようにしてください。



4. 室内灯ユニットに取り付けた電極板が、車両の一番端になるように、プラ板を貼った室内灯ユニットを車体屋根裏に貼ります [図⑬]。なお、屋根裏の形状によっては、プラ板を使用せず、直接室内灯ユニットを貼り付けることもできます。
5. 電極板と集電シューが接触するように、車体と床下を合わせます。うまく接触しない場合は、電極板と集電シューの位置を調整してから合わせます [図⑭]。



6. 別売りの集電スプリングを室内灯ユニットの 2 番目の端子にハンダ付けしてプラ板に貼り、従来の接点部に差し込んで取り付けできます [図⑮⑯]。



※プラ板の幅は 11mm になっております。屋根裏/床下にセットした場合、接触して嵌らない時は幅を 1~3mm 位カットして狭くしてください。

※車両の構造により取り付けできない場合や、光が遮断されて均一に点灯できない場合がありますのでご了承ください。

※製品の改善により、仕様および外観を予告なく変更することがあります。

製造販売元 **庄龍鉄道** TEL: 050-7578-4131
E-mail: zhuanglong@r05.so-net.ne.jp
〒115-0053 東京都北区赤羽台 1-5-6-1009 URL: http://zhuanglong.blog.so-net.ne.jp